



**神谷美恵子 ハンセン病と歩んだ命の道程**  
大谷美和子・著 くもん出版  
神谷美恵子は、かつて長島愛生園で精神科の医師として入所者を診療した人物です。ハンセン病や精神科の患者たちと接する中で「生きがい」について考え続けた、美恵子の生涯を分かりやすく紹介しています。

## 人形を操ってみませんか 糸あやつり人形劇養成講座

市内の8つのアマチュア人形劇団の代表者が会員の瀬戸内市アマチュア糸あやつり人形劇団協議会は、郷土が生んだ世界的糸あやつり人形師竹田喜之助の偉業を後世に伝え、人形劇を通じて地域文化の発展と交流を行うことなどを目的として活動しています。



糸あやつり人形の制作

会員

▽受講料 無料

※材料費などがかかる場合があります。

▽申し込み期限 4月20日(土)

▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

▽活動日 月2回程度

▽活動場所 中央公民館(巨久)

▽講師 瀬戸内市アマチュア糸あやつり人形劇団協議会

わくわくチャレンジ  
おもちゃ作り

4月のわくわくチャレンジ

は、牛乳パックを材料にくるくる回る風車を作ります。同時におもちゃの病院も開催します。

▽日時 4月27日(土)

午前10時～正午

▽場所 中央公民館(巨久)

▽講師 せとうちおもちゃの病院の皆さん

▽参加費 100円(材料費)

▽定員 20人

※4月2日(火)から受付開始。

先着順・定員になり次第締切。

▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

野菜を食べて免疫力アップ  
四季の重ね煮講座

「重ね煮」は野菜の持つ力を最大限に引き出す調理法です。砂糖や化学調味料をなるべく使わず、素材の味を楽しむ

「重ね煮」は野菜の持つ力を最大限に引き出す調理法です。砂糖や化学調味料をなるべく使わず、素材の味を楽しむ

先着順・定員になり次第締切。

※平成24年度に受講していない人を優先して受け付けます。

▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

▽定員 22人

※4月2日(火)から受付開始。

先着順・定員になり次第締切。

▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

▽講師 小山津希枝さん

▽参加費 300円(年間登録料)と材料費4,000円

▽持ち物 エプロン、三角巾、布巾

▽定員 22人

※4月2日(火)から受付開始。

先着順・定員になり次第締切。

▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

▽講師 小山津希枝さん

▽参加費 300円(年間登録料)と材料費4,000円

▽持ち物 エプロン、三角巾、布巾

▽定員 22人

※4月2日(火)から受付開始。

先着順・定員になり次第締切。

▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

▽講師 小山津希枝さん

▽参加費 300円(年間登録料)と材料費4,000円

▽持ち物 エプロン、三角巾、布巾

▽定員 22人

※4月2日(火)から受付開始。

先着順・定員になり次第締切。

▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

▽講師 小山津希枝さん

▽参加費 300円(年間登録料)と材料費4,000円

▽持ち物 エプロン、三角巾、布巾

▽定員 22人

※4月2日(火)から受付開始。

先着順・定員になり次第締切。

▽問い合わせ・申込先  
中央公民館

▽講師 小山津希枝さん

▽参加費 300円(年間登録料)と材料費4,000円

▽持ち物 エプロン、三角巾、布巾

## 瀬戸内発見伝

### 巻の九十九

きました。海外公演なども多数行いました。

代表作とされるのは「雪ん子」です。原案を吉永淳一、脚本・演出を杉野橋太郎が手掛けた作品で、昭和32(1957)年、文部省の芸術祭奨励賞を受賞しました。

それまで寄席芸か子ども向けと見られていた人形劇という分野を、芸術として認めさせた作品といわれています。

雪ん子は雪の精で、人形のモデルになったのは喜之助の娘だといわれています。

昭和41(1966)年にも「鶴の笛」(原作・林芙美子、脚本・吉永淳一)で芸術祭奨励賞を受賞しました。

しかし、昭和54(1979)年、残念ながら交通事故によるけががもとで亡くなりました。享年56歳でした。

生前の業績が認められ、喜之助は平成2年に日本ユニマ



代表作「雪ん子」 撮影：島隆諦

の学問が生かされたからだといわれています。

マルチな才能と謙虚な人柄

喜之助は、人形制作だけでなく、脚本家、演出家、人形遣いとしても優れていました。さらに、国際的な活動を切り拓く上では、喜之助の語学力が大きく貢献したといえます。

また、その人柄は謙虚で穏やか、人に誇ったり自分を売り出したりすることが嫌いな人物でした。そのため、多くの人に尊敬され、慕われました。

今なお喜之助を顕彰しようとする人が多いのも、才能だけでなく、その人柄に魅力があるからでしょう。

## 世界的な糸あやつり人形師 竹田喜之助

竹田喜之助(本名・岡本隆郎)は、瀬戸内市が生んだ世界的な糸あやつり人形師です。現在も喜之助の功績を讃えて、市内では毎年「喜之助フェスティバル」が開催されています。

### 喜之助のプロフィール

喜之助こと岡本隆郎は、大正12(1923)年に巨久村



竹田喜之助

敗戦後、進路を探し求めていたところに結城座の人形劇と出会い、昭和25(1950)年、大学卒業と同時に入座しました。当時の芸名は糸城三三といいました。

昭和30(1955)年、竹田人形座が旗揚げされると、竹田喜之助と改名し、以後、次々と独創的な作品を生み続

次々と独創的な作品を生み続

今月の月末図書整理日(お休み)は、**4月30日(火)**です。  
■貸し出し・問い合わせ先  
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761  
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501  
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663  
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/index.htm>

山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた  
山中伸弥・著 緑慎也・著(聞き手) 講談社  
山中伸弥氏はノーベル生理学・医学賞を受賞した医学者ですが、受賞までの道のりは決して順調ではありませんでした。挫折・苦境をどのように乗り越えたのか。「自分も頑張ろう」という気持ちにさせてくれる一冊です。iPS細胞についても分かりやすく解説。

Books